

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
【部門区分】第7部門第3区分  
【発行日】令和1年7月25日(2019.7.25)

【公表番号】特表2018-525917(P2018-525917A)  
【公表日】平成30年9月6日(2018.9.6)  
【年通号数】公開・登録公報2018-034  
【出願番号】特願2018-504977(P2018-504977)  
【国際特許分類】

H 0 4 W 16/14 (2009.01)

H 0 4 W 74/08 (2009.01)

【F I】

H 0 4 W 16/14

H 0 4 W 74/08

【手続補正書】

【提出日】令和1年6月17日(2019.6.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ワイヤレス通信を管理するための方法であって、

少なくとも第1のワイヤレス通信デバイスを使用して、無認可帯域のチャンネルのタイムスロットのサブセットを選択するステップと、

前記第1のワイヤレス通信デバイスを使用して、タイムスロットの前記選択されたサブセット中に、前記チャンネル上のトラフィックを監視するステップであり、前記チャンネル上の前記トラフィックを監視するステップが、

タイムスロットの前記選択されたサブセットの1つまたは複数のタイムスロット中に、前記無認可帯域において信号が送信されているかどうかを判定するステップと、

前記信号が送信されていると判定したことに応答して、タイムスロットの前記選択されたサブセットの隣接するタイムスロット間のデューティサイクルを動的に変更することによって、前記チャンネルのタイムスロットの更新されたサブセットを選択するステップであり、前記デューティサイクルを動的に変更することが、タイムスロットの前記更新されたサブセットの隣接するタイムスロット間の選択されていないタイムスロットの数を増やすことを含む、ステップと

を含むステップと、

前記第1のワイヤレス通信デバイスを使用して、タイムスロットの前記更新されたサブセットに基づいて選択された送信タイムスロット中に、第2のワイヤレス通信デバイスとデータを通信するステップと

を含む方法。

【請求項2】

前記チャンネルが前記無認可帯域の少なくとも1つの他のチャンネルよりも低いトラフィック負荷を有すると判定したことに基づいて、前記無認可帯域の複数のチャンネルの中から前記チャンネルを選択するステップをさらに含む、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

タイムスロットの前記選択されたサブセットの各タイムスロットが、前記チャンネル上の前記監視されたトラフィックに基づいて、ランダムな数の選択されていないタイムスロッ

トによってタイムスロットの前記選択されたサブセットの隣接するタイムスロットから分離され、

選択されていないタイムスロットの前記数を増やすために異なるタイムスロットを前記選択することが、タイムスロットの前記更新されたサブセットの前記隣接するタイムスロット間の前記ランダムな数の選択されていないタイムスロットを増やすことを含む、

請求項1に記載の方法。

【請求項4】

タイムスロットの前記選択されたサブセットの1つまたは複数のタイムスロットを複数のサブスロットに細分するステップをさらに含む、請求項1に記載の方法。

【請求項5】

前記無認可帯域の前記チャンネル上のトラフィックを監視する前記ステップが、前記複数のサブスロットのうちの1つまたは複数のサブスロット中に、前記無認可帯域において信号が送信されているかどうかを判定するステップを含む、請求項4に記載の方法。

【請求項6】

前記無認可帯域の前記チャンネル上のトラフィックを監視する前記ステップが、送信されるべきデータの量に基づいて、トラフィックについて監視される前記複数のサブスロットのサブスロット数を変更するステップをさらに含む、請求項4に記載の方法。

【請求項7】

前記無認可帯域の前記チャンネル上のトラフィックを監視する前記ステップが、基準信号を復号することによって前記無認可帯域上に進行中の送信が存在すると判定するステップをさらに含む、請求項1に記載の方法。

【請求項8】

前記基準信号が、ショートトレーニングフィールド、ロングトレーニングフィールド、またはレガシー互換信号フィールドのうちの1つまたは複数を含む、請求項7に記載の方法。

【請求項9】

前記チャンネル上のトラフィック負荷データを、前記第2のワイヤレス通信デバイスとの間で送信または受信するステップをさらに含む、請求項1に記載の方法。

【請求項10】

前記チャンネル上でプローブ信号を送信するステップと、  
前記チャンネル上のトラフィック負荷を判定するために、プローブ応答について1つまたは複数のチャンネルを監視するステップと  
をさらに含む、請求項1に記載の方法。

【請求項11】

請求項1から10のいずれか一項に記載の方法を実行するための手段を備えるワイヤレス通信デバイス。